

7月 (前回掲載分を除く)

- 21 ● 議会災害等対策会議要望書提出
 ▶ コロナ禍において困窮している若者・学生を中心とした支援として「えにわ商品券えにわんチケットプレミアム」の活用に係る要望書を市長に提出しました。

8月

- 3 ● 経済建設常任委員会
 4 ● 総務文教常任委員会
 5 ● 議会改革推進協議会
 6 ● 厚生消防常任委員会
 11 ● ※ I C T 専門部会
 19 ● 石狩東部広域水道企業団議会定例会
 20 ● ※ 議会基本条例素案作成部会
 23 ● タブレット操作議員研修会
 ● コロナ禍における経済支援に対する緊急要望を提出
 ▶ コロナ禍において、これまで何らかの理由により支援が受けられず真に困窮している飲食業及び関連業種に対する経済支援を求める要望を市長に提出しました。
 ● 25 ● 広島県庄原市議会行政視察 (WEB対応)
 26 ● ※ 議会基本条例素案作成部会
 27 ● ※ 議会沿革・図書室活性化専門部会
 ● 議会災害等対策会議要望書及び経済支援に対する緊急要望の回答を市長より受理
 31 ● 会派交渉会

9月

- 3 ● 議会改革推進協議会
 7 ● ※ 議会基本条例素案作成部会

- 9 ● 会派交渉会
 13 ● 会派交渉会
 14 ● 議会運営委員会、議会改革メンバーと議会モニターとの意見交換会
 15 ● 第3回定例会初日、厚生消防常任委員会、基地特別委員会、柏陽・恵央地区まちづくり特別委員会、決算審査特別委員会
 21、22、24 ● 一般質問
 24 ● 議会運営委員会 (意見案調整等)
 29~30 ● 決算審査特別委員会 (個別質疑)
 29 ● 常任委員長会議

10月

- 5 ● 総務文教常任委員会
 6 ● 厚生消防常任委員会
 7 ● 経済建設常任委員会
 8 ● 基地特別委員会、柏陽・恵央地区まちづくり特別委員会
 11~13 ● 決算審査特別委員会 (代表質疑)
 12 ● 会派交渉会
 14 ● 議会運営委員会
 15 ● 第3回定例会最終日 (審査報告・議案審議)
 ● 灯油高騰対策及び経済支援への要望を提出
 ▶ 厳冬期を迎えるにあたり、灯油価格高騰に伴う経済支援策を求める要望書を市長に提出しました。
 25 ● 全国市議会議長会基地協議会北海道部会定期総会 (名寄市)
 27 ● ※ 議会沿革・図書室活性化専門部会
 29 ● ※ 議会基本条例素案作成部会

※は議会改革推進協議会の専門部会
 ◎上記のほか、毎週木曜日に議会災害対策等会議を開催しております。

令和3年第4回定例会日程

月 日	主な議会日程	場 所
11月26日(金)	定例会招集日(初日)	本会議場
12月 1日(水)~ 12月 6日(月)	一般質問	本会議場
12月 7日(火)	総務文教常任委員会	委員会室
12月 8日(水)	厚生消防常任委員会	委員会室
12月 9日(木)	経済建設常任委員会	委員会室
12月10日(金)	特別委員会	委員会室
12月14日(火)	定例会最終日(議案審議)	本会議場

上記の日程は11月1日現在の予定です。一部変更になることがありますので議会事務局 (Tel 33-3131内線 3211・3212) までご確認ください。

【柏陽・恵央地区まちづくり特別委員会】

令和3年9月15日設置

■ 柏陽・恵央地区の市営住宅団地建替事業の方向性や事業手法、事業スケジュール等に基づき、地区全体のまちづくりを審査する特別委員会です。

委員長	市川 慎二 (清)	副委員長	小橋 薫 (恵)
前田 孝雄 (清)	松島 緑 (公)	武藤 光一 (民)	
柏野 大介 (歩)	岩井 利海 (諸)		

※ 自由民主党議員団清和会 (清)、自民党恵義会 (恵)、公明党議員団 (公)、民主・春風の会 (民)、市民と歩む無党派ネットワーク (歩)、諸派 (諸)



編集後記

第3回定例会が終了致しました。今回の定例会では、令和2年度の恵庭市の各会計の決算を審査する、「決算審査特別委員会」が設置されました。

令和2年度におけるコロナ対策事業や、他の施策等にどれだけ市のお金が使われたのか、という事について議論が交わされました。委員会での様々な視点による議論が、来年度の予算編成に、少しでも反映されればと思います。

その様な中、改めて思うのは、新型コロナウイルス感染症が、長きに亘り私たちの生活に、ここまで大きく影響を及ぼすとは、思ってもみなかったということ。一日でも早く終息し、安心して暮らせる日常生活になることを願うばかりです。

又、今回の定例会では、「柏陽・恵央地区まちづくり特別委員会」が設置されました。今後、様々な議論されていきます。

今年度、議会改革の一環として「議会モニター制度」(試行)を導入しました。議会に対する様々なご意見をしっかりと受け止め、議員としての自覚を、更に深めていかなくてはと決意しております。

市議会だより編集委員会
 (生本 富士代)